



Nissshotku's

NIPPON FOOD MANUFACTURER
SINCE 1918

日本で最初のシリアルメーカー



はじめに

日本食品製造合資会社(日食)は日本で初めてコーンフレークやオートミールの製造をいたしました。原料のとうもろこしやオーツ麦は北海道の代表的農産物であり、北海道が日本のコーンフレークやオートミール発祥の地となりました。現在でもその先進的なスピリッツを受け継ぎ、他にはない、穀類や野菜類加工品の開発を行い、北海道の立地条件を生かした製品作りを通して、日本人の食生活の向上に寄与し続けたいと考えております。現在日食では、自社製品、PB製品、業務用製品の製造販売を行っております。日食は日本で唯一の有機JAS認定シリアル工場を有しております。



(財)食品環境検査会
No.JIAFE-OP-0003

これからの日食(目標とビジョン)

自然の素材がもっている味、栄養、良さを生かした食品作りをめざし、皆さまの健康的な食生活に貢献します。オートミール、フレーク類、スイートコーンなどの製造工程には添加物などを一切使用せずに製造する事ができます。穀類や野菜の持つ自然の良さを最大限に引き出すには、必要最低限の加工をする事が最適であると日食は考えます。自社製品はこの理念のもとに製造をしております。



日食ブランド製品(コーンフレーク、オートミール、グラノーラ)

CSR(企業の社会的責任)

日食では、CSRは会社の長期成長に欠かせないものと考えます。消費者の皆様、お取引先様、地域の皆様、そして社員に対し、日食はジェントルマンブランドの由来通りに公正かつ誠意を持って対応して行きます。

社会貢献は当社設立のルーツにもつながります。創設者は、当時食生活が貧困だった日本の食生活の向上を目的とし、会社を設立しました。また、創設者は札幌市の大通公園の設立メンバーでもあり、自費で大通公園に草花を植え、地域への貢献もいたしました。現在でも、ユネスコのような世界的組織の募金活動などに参加し、支援を続けております。

ジェントルマン・ブランド (Gentleman Brand) の由来

創設者、戸部 佶が食品加工の研究のためにイギリスに滞在していた時、イギリス人のシルクハットにステッキ姿が印象に残り、彼等を見て紳士たる者の思考、行動、振舞を感じ取り、帰国後戸部はこの紳士の姿を会社の商標とする事によって、今後の会社のあるべき姿を見いだそうとしました。

- 会社としての風格は紳士たるべし
- その製品は紳士同様一流であり、風格、品格を有すべし
- 取引関係においてもすべて紳士たるべし
- 社員一同、紳士、淑女たるべし。

以上の理想・信条をこの商標にこめました。

イギリス人紳士をモチーフにした商標



スーパーマーケット用の展示用ボード

シリアルのパイオニア(歴史)

1910年初頭より、創設者の戸部 佶(ただし)は、日本の食生活の改善のために欧米の食料品の研究を行っていました。

1918年に日本食品製造合資会社を設立。その後北海道の農産物をいかに加工・貯蔵できるか、また北海道の気候風土に適合した農産物はないかを研究する為に、1925年に渡米し、米国で穀類の加工や野菜類缶詰の製造技術を修得しました。その後ヨーロッパにも渡り、当地の農作物やそれらを原料として加工された食品類の研究をしました。

帰国後、当時欧米で最先端だった食品工場を1929年北海道札幌市琴似に建設し、野菜類缶詰の製造を始め、日本では当時まだ珍しかった、スイートコーン、アスパラガスやピクルスなどを北海道で栽培し、それらの缶詰や瓶詰を製造しました。

1929年には、北海道産の燕麦やとうもろこしを原料として、栄養に優れた、オートミールやコーンフレークの製造を日本で初めて行い、今日の日本の食文化の多様化に多大に貢献して来ました。

1946年に北海道夕張郡由仁町三川に工場を新たに建設し、近隣農家で栽培された農産物の加工をはじめました。

創業時より北海道の農産物を研究し、それらの加工品の製造を行ってまいりました。

これからも新しい食品を北海道から提供できるよう、日々努力を重ねて行きます。



1929年に建てられた当社工場。
日本のコーンフレーク、オートミール発祥の地。
現在は札幌市都市景観重要建物第1号として
保存されております。



日食 北海道産ロール オーツは、創業当時のデザインを復刻させ、
創業当時と同じ製法のオートミールを提供しております。



日食スイートコーンは契約栽培により、
特別栽培された原料を使用しております。

自然環境への取り組みについて

日食は安全・安心な食品を製造する事を第一に考えております。安全・安心な食品を提供するには、自然環境にも配慮する必要があります。良い自然環境を維持できなければ、土壌・水質・大気汚染によって安全且つ安心できる農作物を安定的に生産する事はできません。また、当社は北海道で栽培された農作物を原料とした食品の製造も行っており、我々が居住し愛するこの北海道の環境保全にも積極的に努めていかなければなりません。よって当社は自然環境への取り組みを社員全員で実施致します。

会社概要

名称 日本食品製造合資会社
設立年月日 大正7(1918)年8月10日
創設者 戸部 信
出資金 480万円
会 長 戸部 謙一
代表社員 戸部 謙ルイス

本社所在地 〒063-0841 北海道札幌市西区八軒1条西1丁目2番10号
電話 (011) 611-0224 ファックス (011) 611-2225

三川第1工場 〒069-1144 北海道夕張郡由仁町本三川660番地
三川第2工場 〒069-1131 北海道夕張郡由仁町三川泉町178番地、181番地
電話 (0123) 86-2026 ファックス (0123) 86-2027
有機JAS、FSSC22000(シリアル製造、オートミール製造)、JAS(缶詰)

試験農地 穀類や野菜類の試験栽培及び製造に適した品種等の改良、開発試験研究

東京営業所 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目7-4 theSOHO 1110
電話 (03) 6426-0620 ファックス (03) 6426-0621

Eメール info@nihonshokuhin.co.jp

ホームページ www.nihonshokuhin.co.jp

営業種目 穀類加工品 オートミール、コーンフレーク、その他穀類加工品
野菜類加工品 スイートコーン缶詰、その他野菜類加工品

主な取引先 三菱食品、伊藤忠食品、国分、日本アクセス、西友、トップバリュ、日清製粉グループ
主な仕入先 三菱商事、住友商事、道内農協、凸版印刷、DNP、森紙業、北海製罐

